



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

# パンダハウス

## News Letter

**VOL.15** 2022年9月号  
(年2回 3月、9月発行)

発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局  
TEL 024-548-3711  
〒960-8157 福島県福島市蓬莱町八丁目15番地1

HP <https://pandahouse.org>  
facebook <https://facebook.com/npo.panda.house>  
E-mail [office@pandahouse.org](mailto:office@pandahouse.org)



## 相談事業報告

相談員 **森 千香子**

病と闘う子どもと家族の専門の相談員として、2017年5月よりパンダハウスでの活動を開始しました。ハウス内の活動に加えて、2018年4月より福島県立医科大学附属病院との契約を結ばせていただき、医療連携相談室にて小児専門の相談員として常駐させていただいております。そこでは年間平均600件の相談支援を実施することができるようになりました。

更に相談事業の中で、新しい支援の形としての広がりもできてきました。今回ご紹介するのは、「須賀川支援学校医大校」と連携し、ハウスのホールを活用しての「学習支援」です。子どもたちにハウスで社会見学や料理、お楽しみ会などを実施して

もらいました。このように入院中の子どもたちが病院外の施設にて活動を行えることは気分転換や学びの幅が広がり非常に貴重です。しかし、実施までには衛生環境・緊急時対応・医療的な確認等を踏まえた上でようやく実現することができるのです。

さらに、長期治療を乗り越えられた子どもたちへ「就労支援」という活動も始まりました。治療の為にいろいろな制約のある生活の中でも、将来を見据えた社会とのつながりを直接感じられるよう、活躍の場を提供しています。そのはじまりが、「天夏ストア」です。

小さな小さな一歩かもしれませんが、希望の一歩となるようこれからもサポートさせていただきたいと思っております。

今後もパンダハウスの相談員として子どもたちの素敵な物語を皆様にお届けしていきます。



## 須賀川支援学校医大校とは

福島県立須賀川支援学校医大校 **宍戸 和枝**

須賀川支援学校は、本校が須賀川市にあり郡山校と医大校の二つの分校から設置されております。病弱虚弱教育を担う特別支援学校であり、中でも福島県立医科大学附属病院内に設置されている医大校は、県内外からの入院に伴う転出入が県内で最も多く、更には、特別支援学校のセンター的機能の一つとして学習支援という形で、入院期間にかかわらず小学生から高校生段階までの児童生徒の学びをサポートしています。

入院中の児童生徒たちは、様々な制限を受けたり気持ちが揺れ動いたりします。そのような中で、学習活動の一つとしてパンダハウスを利用させていただき、心身のリフレッシュを図ったり友達との交流を深めたりしています。「パンダハウスに行ってきます。」と、少し緊張気味で出かけた声が、「あのね、



すごいおもちゃがあったんだよ。」「おっきいソファーはふあふあしたよ。」と、帰校した際に弾んだ声を聞くと、入院治療中を一時忘れるくらい充実した時間をパンダハウスで過ごすことができたことを感じます。

コロナ禍における校外での活動を模索する中、感染対策が行き届いているパンダハウスは安心して利用することができ、学習活動の一つとしても、児童生徒の心の発達においても貴重な場所でもあります。



## 天夏ストア

入院中の合間に、親友のなっちゃん和小物を作りました。なっちゃんとは入院中に仲良くなり、共通の趣味があったこともあり多くの時間を一緒に過ごしました。

作った小物を何かに役立てたいと思いパンダハウスにお店を出すことにしました。小さい子も楽しく小物を買えるようにガチャを作ったり、どこにも売っていないようなデザインになるように工夫したりしてキーホルダーを作りました。

みなさんもパンダハウスをご利用の際はぜひ「天夏ストア」をのぞいてみてください。







# 25年間 ありがとうございます!

福島県立医科大学附属病院  
病院長 竹石 恭知

パンダハウスの運営は、今年10月で1997年のオープンから25周年を迎えます。

最近では、新型コロナウイルス感染症の流行など運営上大変な状況もございますが、長きにわたるご支援に深く感謝申し上げます。

25年の間、子どもさんやご家族の気持ちに寄り添い、その時々で何が必要とされているか、どのような支援ができるかをお考えいただき活動されてこられました。

利用者の方からも、「パンダハウスがあって良かった」、「心の支えになった」などのたくさんの感謝の声がありますように、子どもさんやご家族の心の支えになっていることに改めて敬意を表します。

また、入院中だけでなく退院後も、切れ目のないご支援を提供することで病と生きる子どもさんやご家族の不安が軽減され、病と生きる子どもさんやそのご家族が「地域で安心して

生活できる」ことを目標に、2017年より「相談事業」を開始されました。常に子どもさんやご家族に寄り添って行われる活動は、皆様の大きな励みになっていることと思います。

院内では、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、クリスマスイベントやチャリティーバザーが出来ない状況にあります。

その様な状況下でも、子どもさんとご家族が楽しく参加できるイベントを企画いただき、令和3年度は「病と闘う子どもときょうだいの絵画パネル展」を開催、院内でも展示いただきました。今年度は、「バーチャル美術館」を企画していただきました。パネル展の際は、応募された絵を日めくりカレンダーにして応募者へお贈りいただき、大変好評だったと伺っております。

パンダハウスを育てる会の山本理事長、ボランティアの皆様、運営、支援に携わっている皆様に深謝いたします。

私たちは、当院の基本理念であります「健康を支える医療・心温まる医療を目指して県民と共に歩む」気持ちで、医療を提供してまいりますので、これからも子どもさんやご家族に対する温かいご支援をお願いいたします。

## 「病と闘う子どもときょうだいの作品」バーチャル美術館開設に向けて

### ♡クラウドファンディングの実施、目標額を達成しました!♡

バーチャル美術館の開設資金を調達するため、東邦銀行様にご紹介いただきCAMPFIREクラウドファンディングに初挑戦しました。お陰様を持ちまして、目標金額を確保することが出来ました。ご支援をいただきました皆様、本当にありがとうございました。

●プロジェクト名: 闘病中の子どもたちに楽しいひと時を届けたい! 病室から参加できる作品展を開きます

- 募集期間: 2022年4月10日~5月30日
- 目標金額: 2,000,000円
- 支援総額: 2,072,000円
- 支援者数: 84人



### ♡「病と闘う子どもときょうだいの作品」募集開始!♡

みんなの作品で「パンダハウス」をバーチャル美術館にしよう!!

6月1日から子どもたちの作品を募集開始しました!

福島県立医科大学附属病院および須賀川支援学校医大校のご協力・ご支援をいただき誠にありがとうございます。子どもたちの楽しい作品がたくさん集まることを期待しています。

- 応募期間: 2022年6月1日~2022年8月31日
- テーマ: 伝えたいこと、感じていること、表現したいことをかたちにしよう
- 応募者プレゼント: 応募作品をポストカードにしてプレゼントします



### ♡作品展開催の予定♡

- バーチャル美術館: 2022年12月オープン予定
- リアル展示会: 2023年2月15日(水)~2月19日(日)「コラッセふくしま」1階アトリウムにて開催予定

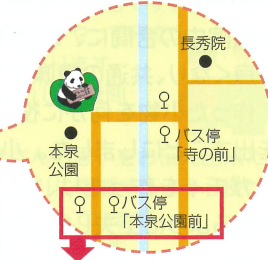
引き続き、バーチャル美術館開館までプロジェクトメンバー一丸となって取り組んで参ります。

## 路線バス乗り場「パンダハウス」の誕生!

### 重要なお知らせ

令和4年4月1日より、福島交通のバス停が「本泉公園前」から「パンダハウス」に変更となりました。ご利用される皆様は、路線名「桜台・南福島ニュータウン」の「パンダハウス」をご利用ください。

福島交通様、バスマスクや車内告知など当会への活動支援に感謝申し上げます。



令和4年4月1日からバス停名が「パンダハウス」に変更となりました!



# 利用者の声



息子が術後ICUに入院している時、3日間利用させて頂きました。

すごくアットホームな雰囲気なので、ホテルや旅館と違い、自宅で過ごしているようにくつろがせて頂きました。

息子がいる医大までは自転車で行こうと思っており、自前の自転車を用意していましたが、パンダハウスには電動自転車が常備しており、数十年振りに乗る私はそちらを利用させて頂きナイスアシストでした。

短い間の利用でしたが、スタッフさんの親切で細かい気配りにとても助けてもらい感謝しかありません。ありがとうございました！

アットホームな施設で、台所で料理をしたり、設備が整っており、子どもの事を考えると不安ではありましたが、気分をリフレッシュして過ごす事が出来ました。

又、ボランティアで来てくださる方との交流は1人で過ごす私にとっても励みになりました。

皆さん親切な人ばかりで家で留守にしている娘達にとバッグを頂いたり、急なお願いだった入院中の我が子の初節句のためのかぶとのクラフトペーパー作りなど協力して頂きました。

パンダハウスのような施設は、治療、入院、手術を控えているお子さんにとって、家族にとって素晴らしい所で必要な場所だと感じます。

現在はコロナ禍で、ワイワイ過ごす事が難しいですが同じ悩みを持つ親御さんがこの場所に来てくつろげる交流できる場所、子ども達との交流の場として遊びに来れる際は、是非参加したいです。



2月に22週、体重597gで生まれた息子が未熟児網膜症の治療のため、6月に福島県立医科大学附属病院様に転院となりました。受け入れてくださった医師・看護師を始めとするスタッフの皆様には感謝に堪えません。息子の手術の週には、パンダハウス様で5泊6日、快適に過ごすことができました。栃木県という福島県外からの者に対しても、皆様、大変親切にしてくださり、人の暖かさを実感する日々でした。

また、妻が息子のための母乳をパックに冷凍保存しているのを見て、ミルトンを机の上に準備くださるなど、細やかな心遣いが本当に有難かったです。2月の出産以降も息子の数度に渡る手術、そして、県外への転院からの手術と心の安まる暇がないなか、パンダハウスでは心穏やかに過ごすことができました。本当に本当にありがとうございました。

前回宿泊した際に、入院中の息子(3才)とテレビ電話をし、パンダハウスがどのような所か部屋やリビングを見せながら説明しました。それ以降ずっと「パンダハウスへ行きたい!」と言っており、今回退院のタイミングで初めて家族で宿泊する事ができました。

来てまず最初に入口のパンダさんとパンダの赤ちゃん達を見て「かわいいー!」となでなでし、すぐリビングへ向かいオモチャやアンパンマンの時計、テーブルを見てテンションMAXになりました。

本当にすごく嬉しかったみたいでずーっと遊んでいました。治療も入院も遠い土地に来ているという事も、小さいながらもストレスを感じていたと思い、こうやって喜んでくれる事が親としてもとても嬉しく思いました。

今回も大変お世話になりました。宿泊できて本当に良かったです。ホームシアターも貸して頂き、息子が感動していました。

私もどのような物が興味があったのでとてもありがたかったです!! 本当にありがとうございました!!



利用者さまからいただいた  
あたたかなメッセージ付き封筒

## ボランティアさんの紹介

## パンダハウスとの出会いは...

ボランティア  
半澤 秀紀



私とパンダハウスとの出会いは、何かでボランティア説明会のお知らせを拝見したことがきっかけでした。

当時(2019・春)は個人的な事情で休日の時間を余すようになりました。

以前から社会貢献がしたい、何かの・誰かの役にたきたいという想いを行動に移すにはいい機会でもありました。

事前にネット等でパンダハウスのことを調べており、説明会に行くころにはボランティア活動に参加することを決めていました。

説明会で詳しく歴史や活動内容を聞き、数日後には施設見学に伺い、月に1~2回からと思いついに至ります。

正直なところ、ボランティア参加当初は精神的にも辛い時期で、ヘルパーズハイという側面もありましたが、ハウスを

利用するご家族のお話を聞いたり、子供たちの笑顔に出会える度に、パンダハウスがもっと安心して過ごせる、自宅にいるような優しい空間であるためにできることはなんだろうと考えるようになりました。

パンダハウスでのボランティアは3年が経ちましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、ボランティアの受け入れを中止する期間もありましたが、今では生活の一部として定着しています。

ハウスでの心優しいスタッフの皆様との出会いや、ハウスの運営、NPOの仕組みなどの学びは数多く、自己成長にもつながっていると確信しております。

これからも微力ではありますが、お手伝いを続けていきます。

なんといっても趣味の掃除が思いっきりできるのです! (\*^▽^\*)





## 活動報告 2022年3月～2022年8月

### ～花壇の整備と花植えを実施しました～

2022年5月21日(土)星純平チームの皆様在花の植替えを行うための花壇整備を行っていただきました。

また、5月28日(土)は今年からボランティア活動に加わって下さいました方々と一緒に夏・秋の花植えを実施しました。

利用者の皆様やご近所の皆様の心を癒してくれるでしょう。ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。



### ～パンダハウスチャリティーバザーの開催～

#### ◇「たざわさん'ず」に今年も出店しています

福島市田沢地区の新鮮野菜直売所「たざわさん'ず」に今年も12月までの「第1日曜日」出店します。初日は2022年5月22日(日)でしたが、あいにくの天候にも関わらず多くの買い物客が訪れました。12月までの開催日にお待ちしております。



ハウスから徒歩1分の長秀院駐車場



#### ◇「てんえい市フリーマーケット」に出店しました

2022年6月11日(土)「道の駅羽鳥湖(福島県岩瀬郡天栄村)」で開催されたフリーマーケットに出店しました。午後から雷雨となり終了時間を繰り上げての出店となりましたが、コロナ禍でイベント開催が減少している中での出店となりパンダハウスの取組をご紹介します良いきっかけとなりました。



羽鳥湖高原交流促進センター屋外

## ボランティアさん募集中

パンダハウスの内外を清掃して下さるボランティアを募集しています。

**\* 活動時間: 10:00～12:00 \***

パンダハウスは365日ご利用いただける施設です、活動日についてはご相談に応じます。

- 利用者の居室、浴室、トイレ、リビングの清掃(毎日)
- 花壇の整備 花植え(6月・11月)、除草(4月～11月)
- 駐車場付近の草刈り(6月～10月)



## 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

### 「重症児等とその家族に対する支援活動応援助成」を活用しました!

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、キッチンの水栓をタッチレス水栓に交換しました。

また、短期棟居室3室及びリビングとホールに高性能空気清浄機を導入しました。



\*社会福祉法人中央共同募金会では、「赤い羽根ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン～それでもつながり続ける地域・社会をめざして」募金への寄付を受け付けています。

## 賛助会員への加入とご寄附のお願い

**賛助会員年会費** 個人:(1口) 3,000円(1口以上)  
団体:(1口)10,000円(1口以上)

### 年会費・寄附金振込先

郵便為替口座 口座記号番号:02200-9-110330  
加入者名:認定特定非営利活動法人  
パンダハウスを育てる会

※他金融機関から、郵便振替の場合  
店名:二二九(二ニキュウ)店 当座預金 0110330

## 編集後記

ピンポン♪ハウスのインターホンが鳴った。「昨年、ハウスを利用させていただきお世話になった者です、今日は子どもを連れてお礼に伺いました。」嬉しい訪問者がやって来た! また、年賀状や近況をご報告いただく事もあります。ハウスマネージャーをしていて、これほどうれしい瞬間はありません。

ご支援をいただいている皆様にも利用者さんの思いをお伝え出来たらとの思いで、このニュースレター「利用者の声」に掲載するよう心掛けています。皆様のご厚意は多くの利用者の力となっています。これからもご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

パンダハウス事務局より